

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

レインボーブリッジ (川口陸橋の清掃団体)

川口陸橋がどこの町会にも属さず、たばこの吸い殻や空きかんなどで汚れていたため、地域のために何かできないかとの思いから清掃を始め、現在、8人の会員で活動している「レインボーブリッジ」を岡村市長が訪問。活動内容などについて聞きました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ4月、新年度が始まりました。今月の市長のふれあい訪問は、「レインボーブリッジ」のみなさんです。よろしくお願ひいたします。まず、会長の永瀬さんにお聞きしますが、レインボーブリッジとは、どのような団体のですか。

永瀬 どの町会にも属さない川口陸橋の清掃を、毎月1回早朝に行っている団体です。現在、8人で活動しています。

市長 いつから始めたのですか。

米津 平成5年からです。当時、高校3年生の娘に手伝ってもらいながら2人で始めました。お世話になつている地域のために何かできないかとの思いで始めました。

市長 米津さんが娘さんと始められ、その後、みなさんが加入されたわけですね。

緒方さんは、いつから参加されているのですか。

緒方 紹介してくれた方がいたのですが、私も地域のために何



か貢献したいとの思いがありましたので、良いチャンスだと思ひ、13年前から参加しています。

市長 高橋さんは、サポーターのことでありますが、どのような形でサポートされているのですか。

高橋 毎月1回定期的に活動をしているみなさんの姿を見て、ジュースを差し入れたのがきっかけで参加するようになりしました。以来10年以上、サポート役として活動に参加しています。

市長 どんなごみが落ちていたのですか。

永瀬 一番多いのは、たばこの吸い殻ですが、通行の妨げになるような大きな看板が落ちていたこともあります。

市長 市の「まち美化促進プログラム」の参加協力団体になっていますが、市の行事に参加されることなどあるのですか。

奥泉 はい。年に1回、まち美

化に関するシンポジウムや講習会に参加しています。清掃時に出るごみもきちんと分別しています。

市長 今年の1月にパリで開催された「日仏地方自治フォーラム」で、本市の取り組みを発表してきましたが、フランスではみなさんが行っているような市民活動がほとんど無く、街の美化は行政の仕事だ、そのため高い税金を払っているんだ、という意識が強いようです。

海老 一人ひとりのモラルが大事ですし、そこを向上させないと、街はきれいにならないと思います。

市長 高い税金を払っていいようがいまいが、みなさんのように地域に貢献したいと思うのは、この街に愛着があるからで、そこが街の美化を進める第一歩だと思います。

鈴木 荒川の土手などを愛犬と散歩しますが、自分が通る場所は自分できれいにするという気持ちがありますので、びん・かななどが落ちていれば拾いながら歩いています。

市長 通行する方々の反応はどうですか。

酒井 このごろ、「お疲れ様です、いつもありがとう」などと



声をかけてくれる方も多くなりました。大変うれしく思っています。

市長 街をきれいにするには、心をきれいにするにつながらんと思つています。

最後に今後の抱負などがありましたら、お聞かせください。

永瀬 新しいメンバーが増えれば良いと思つていますし、少しでも川口市の美化促進のお力になれればと思つています。

市長 自分の地域を少しでもきれいにしようとして活動しているみなさんに改めて敬意を表したいと思います。今日はありがとうございました。